



2017 (平成29年) 7月号 No.42

会報

シルバー伊豆の国



自主・自立・共働・共助

公益社団法人 伊豆の国市シルバー人材センター

〒410-2211 伊豆の国市長岡338番地の3

TEL 055-948-9526 FAX 055-948-9682

ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/izunokuni/>



QRコードを使って携帯・スマートホンでホームページを見てください。

平成29年度 定時総会

理事長 橋本 正弘

本日はご多忙の中、「平成二十九年定時総会」にご出席をいただきまして、誠に有難うございます。また、平素より、当会の活動に対しまして、ひとかたならぬご協力とお力添えを賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、ご来賓、伊豆の国市長小野登志子様・市議会議長天野さより様・県議会議員土屋源由様には、六月定例議会中の大変お忙しいにも関わらずご臨席をいただき誠にありがとうございます。日頃、当シルバー人材センターに対して、ご理解ご支援を頂き篤くお礼を申し上げます。

この後、会員として十年間在籍し、シルバー事業の発展に貢献され表彰を受けられる二十名の皆様方に対して、感謝を申し上げると共に、心よりお喜び申し上げます。



これからも、今まで培った経験・知識を活かしさらなるご指導・ご支援を宜しくお願い致します。さて、昨年からの経済状況は、アベノミクスを一層加速しデフレ脱却、経済再生が進む中、緩やかな回復基調が続いており、雇用・所得環境の改善に期待

されていますが、海外の政治、経済の不確実性の高まりなどの影響もあり、先行きは予断を許さない状況であります。

本日の定時総会は、平成二十八年度事業報告と収支決算、理事及び監事の選任、定款の変更等について会員の皆様に審議・承認をいただくものです。よろしくご審議いただきご承認下さいます様お願いします。

それでは最初に主な運営状況に付いて申し上げます。平成二十八年度、年間受託事業契約額は、二億七、七五三万円となり、前年度対比一〇・二％で、若干上向いてはいるものの、依然として厳しい状況であります。なお、派遣事業は、一、三四三万円の実績があり、合わせると二億九、〇九六万円となりました。平成二十九年度は、就業会員の増強、就業機会の開拓・拡大と就業率の向上に努める考えです。

次に、受注件数は、全体で一、七六七件です。内訳は、公共事業二二四件で五七％を占めています。企業・家庭一、一七四件で四三％、独自事業の蛸ヶ島茶屋は三五〇万八千円です。

会員数については、入会者五十五名に対し退会者五十一名で四名の増となり年度末の会員数は五〇九名です。内訳は、男性三六九名・女性一三四名です。また、昨年、委員会は、役員選考委員会、適正就業委員会、安全就業委員会、就業開拓（開発）委員会、普及啓発委員会の四委員会で開催していただきました。なお、活動内容については、総会資料をご覧ください。

次に、平成二十八年度収支決算額については、経

常収益二億九、六三四万九千円、経常費用二億九、九二五万円で当期経常増減額は約二九〇万円の減になりました。この額は、一般正味財産から補填させていただきました。

高齢化の現状は、平成二十八年度で六十五歳以上の人口は三、二九二万人を突破し、四人に一人が六十五歳以上であり、団塊世代が七十五歳になる平成三十七年には三、六五七万人に達すると見込んでいます。その後も高齢化は進みピーク時で三、八七八万人を見込んでいます。

このように高齢化が進む中で、雇用年齢の延長が法制化され、高齢者の雇用、就業を取り巻く環境は、一層厳しさを増してきておりますが、センターの事業は営利目的ではなく、会員も有償ボランティアとして活動していることから、高齢者にとって収入源の確保にはつながらないという課題もあります。

今後のさらなる高齢化社会に向け、意欲と能力のある高齢者が、長年培ってきた知識や経験を活かして働き、生活の安定を図ることができる社会が求められています。

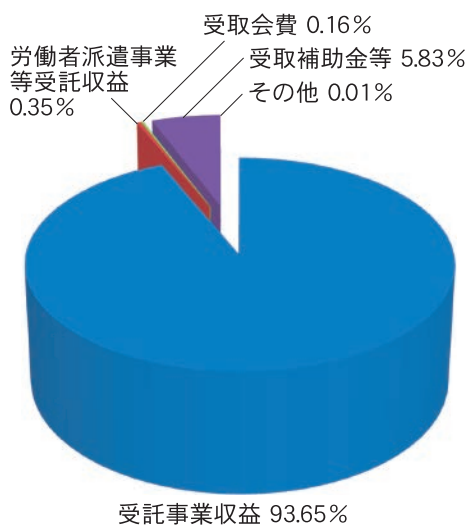
そのためには、当センターの理念である「自立・自働・共働・共助」のもと、高齢者の知識、経験、能力を生かした社会参画の推進に積極的に取り組む、年齢にかかわらず働くことができる場として、地域社会に密着した就業機会が提供できるよう取り組んで参りたいと考えております。

今年度から、介護保険制度が改正され比較的軽度の要支援者に対する介護予防サービスに行政のご理解・ご支援があり参入させていただくことになりました。特に、女性の会員の加入促進に積極的に取り組んでいきます。

これからも会員皆様のご支援・ご協力、並びに行政の一層の力強いご支援をお願い申し上げます。

平成28年度 収支決算報告

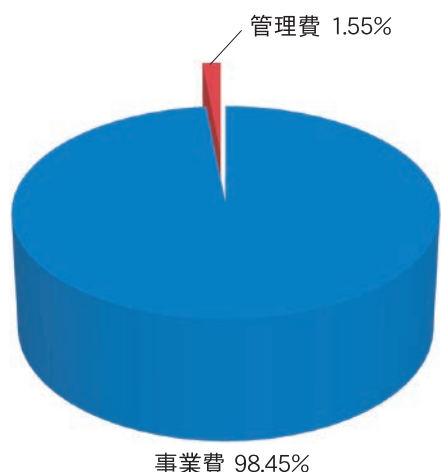
経常収益の部



項目	金額(千円)	割合(%)	内 訳
受託事業収益	277,530	93.65	受取配分金 受取材料費等
労働者派遣事業等受託収益	1,040	0.35	労働者派遣事業等 受託収益
受 取 会 費	479	0.16	正会員受取会費
受取補助金等	17,293	5.83	国庫補助金 市補助金
そ の 他	7	0.01	特定資産受取利息 雑収益
合 計	296,349	100.00	

(単位：千円)

経常費用の部



項目	金額(千円)	割合(%)	内 訳
事 業 費	294,604	98.45	支払配分金 支払材料費等
管 理 費	4,649	1.55	役員費用弁償、 事務所賃借料等
合 計	299,253	100.00	

(単位：千円)

平成28年度 公共民間事業実績

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：円)

	配 分 金	材 料 費 等	事 務 費	合 計
公 共 事 業	136,581,301	7,047,295	10,890,325	154,518,921
一 般 企 業 等	83,177,304	1,419,370	6,537,427	91,134,101
個 人 ・ 家 庭	22,626,500	3,940,134	1,802,191	28,368,825
独 自 事 業	1,987,985	1,362,354	158,562	3,508,901
合 計	244,373,090	13,769,153	19,388,505	277,530,748
前 年 度 対 比 (%)				
公 共 事 業	96.6	143.6	110.3	98.9
一 般 企 業 等	105.8	143.9	120.6	107.2
個 人 ・ 家 庭	96.5	97.0	110.2	97.4
独 自 事 業	94.7	83.5	107.8	90.5
全 体	99.5	118.8	113.6	101.2

平成28年度 シルバー派遣事業実績 (実施事業所)

事業の分類別実績 仕事の分類別実績	① 受注 件数 (件)	②仕事の分類別(人) 派遣労働登録会員数			③ 派 遣 就 業 人 員 (人)	⑤契約金額 (※円単位で記入のこと)				
		男性	女性	合計		会員賃金	会員賃金	手数料等	手数料等	合計
管 理 的 職 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
専 門 的 ・ 技 術 的 職 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事 務 的 職 業	1	1	0	1	87	469,500	138,971	608,471		
販 売 の 職 業	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
サ ー ビ ス の 職 業	3	2	0	2	1,105	6,889,039	1,685,510	8,574,549		
保 安 の 職 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
農 林 漁 業 の 職 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生 産 工 程 の 職 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
輸 送 ・ 機 械 運 転 の 職 業	5	14	0	14	921	3,286,433	914,112	4,200,545		
建 設 ・ 採 掘 の 職 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
運 搬 ・ 清 掃 ・ 包 装 等 の 職 業	1	5	1	6	8	39,100	11,573	50,673		
上 段 計	10	23	1	24	19	2,121	10,684,072	2,750,166	13,434,238	
下 段 計	10				2,121	10,684,072	2,750,166	13,434,238		
公 共 事 業	7				1,428	8,855,632	2,245,751	11,101,383		
民間事業	3				693	1,828,440	504,415	2,332,855		
個人・家庭	0				0	0	0	0	0	

永年在籍者表彰

平成18年4月1日〜平成19年3月31日の入会者

(**韮山地区**) 7名

山本 和子 望月 小平 村上福太郎 柴田 哲

(**長岡地区**) 4名

平井 義明 川口 照雄 長澤 幸子

(**大仁地区**) 9名

塩谷喜久雄 杉山 勝利 野極 清一 鈴木 俊治
川越 泰弘 鳩川 芳郎 滝川 四郎 渡辺 孝一
森野 貢

計20名 (敬称略)



シルバー人材センターでの歲月

柴田 哲

私が会員となったのは平成十八年、『蛭ヶ島茶屋』を紹介された時でした。私は、伊豆の国歴史ガイドの会に所属していますが、当時、やはり、ガイドの会の会員Tさんから茶屋を紹介されたのでした。茶屋は頼朝配流の地にあり、史跡巡りで来る人達があり、遣りがいいのある仕事とのことでした。茶屋勤務を始めると、その通りでした。また、地域の人達の交流の場にもなっていて、教えられることが多々ありました。

シルバー人材センターでは、広報委員として、会報『シルバー伊豆の国』の編集に携わりました。総務委員としても参加させていただき、また、総会では二度、議長を仰せ付かるなど、十年の歲月にあつたことが、次々に浮かんで参ります。私にとって、シルバー人材センターは、今も様々な出会いをいただいている大切な場となっています。

十年を振り返って

鳩川 芳郎

シルバー人材センターに入会して十年が経ちました。入会を機に仕事以外にも様々な同好の士を得ることができ、毎日とても充実した日々を送っています。

私は現在、大仁清掃センターに勤務しています。清掃センターの仕事の一部を紹介します。燃やせるゴミ、プラスチック、カン、紙類、ビンなどを曜日ごとに処理しています。パッカー車やダンプカーなど機械を使用する作業ですので事故には十分注意しています。

この十年を思い返してみますと様々なことが頭をよぎりますが、中でも廃材を利用したちり取りを作製し市内の小中学校に寄贈したところ、児童・生徒たちからお礼を言われたことがとても印象に残っています。

また、毎年十二月にはボランティアでシルバーの仲間と正月の門松を作り、市役所玄関や世界遺産となった韮山反射炉等市内四ヶ所にプレゼントしています。材料集めから製作・設置まで行っているため、設置後、来訪者の方から「久しぶりに見たよ」「すごいね」と言葉を頂けるととても充実感に包まれます。

他にも、「旅と温泉同好会」に所属し日帰りのバス旅行を企画し、毎年皆で楽しく旅しています。バス内でのおしゃべりや市場等での試食は男の私でも心躍るひとときです。

会社で働いている時は、地域への関わりが薄かった私ですが、シルバー人材センターに入会し様々な関わりができました。微力ではありますが、今後も体の続く限りシルバー人材センターの発展のために貢献したいと思えます。

I 事業運営の基本方針

我が国の経済状況は、アベノミクスを一層加速しデフレ脱却、経済再生が進む中、緩やかな回復基調が続いており、雇用・所得環境の改善が緩やかな回復に向かうことが期待されていますが、海外の政治、経済の不確実性の高まりなどの影響もあり、先行きは予断を許さない状況であります。

また、高齢者を取り巻く社会状況は、平成二十八年度で六十五歳以上の人口は三、三九二万人を突破しており、四人に一人が六十五歳以上であり、我が国の高齢化は世界に類を見ない速度で進展しております。

現在、国は国民一人ひとりが活躍する「一億総活躍社会」の実現を目指した施策を展開しております。このようなことから、高齢化社会においてシルバー人材センターは地域の高齢者が自ら培った知識や経験を活かし、地域で健康で生きいきと活動できる場として、必要不可欠な存在であり、その役割は重要なものとなっております。しかし近年のシルバー事業の実績を見ますと、会員数及び契約額は減少傾向にあり、今後発展するためには、会員の増強並びに就業機会の確保が求められております。

このようなシルバー人材センターを取り巻く環境の中、シルバー事業の基本理念である「自主・自立・共働・共助」の推進を堅持しながら高齢者に就業機会を提供すること、及び社会活動を通じ地域社会に貢献すること、並びに地域社会との結びつきを得ることができるとの認識に立ち「安全・適正就業

の推進」と「公益目的事業の推進」をシルバー事業の主要命題との位置づけてまいります。更に事務の効率化、財政の健全化等を図っていくとともに、会員の健康・安全を優先し、更なる安全就業・適正就業の徹底を図り、会員相互の協力体制の強化、会員の社会参加活動などの施策を推進し、全会員が一体となって、地域社会の支えとして、地域社会から信頼されるシルバー人材センターを目指します。

これらのことを踏まえ、本年度は次の事業を取り組んでまいります。

II 重点項目

- 1 就業会員の増強、就業機会の開拓・拡大と就業率の向上に努める。
- 2 普及啓発事業を推進する。
- 3 会員の就業意識、技能の習得を図る。
- 4 安全就業対策と健康管理に努める。
- 5 福祉・家事援助サービスを推進する。
- 6 労働者派遣事業及び有料職業紹介に取り組む。
- 7 財政基盤の強化と事務局機能の効率化を推進する。

III 事業実施計画

1 就業会員の増強、就業機会の開拓・拡大と就業率の向上に努める。

- (1) 会員入会説明会、会員の口コミ、市広報、ホームページ、マスメディア等を利用し会員増強を図る。
- (2) 理事、会員及び事務局による企業訪問を行い、就業開拓を推進する。
- (3) ワークシェアリングを行い、就業ローテーション

化を推進し、就業率の向上に努める。
 (4) 未就業会員に就業（求人）情報を提供し就業機会拡大を図る。
 (5) 「会員ひとり一顧客開拓運動」を推進する。

2 普及啓発事業を推進する。

- (1) ボランティア（社会奉仕作業活動）を実施し、地域に密着したシルバー人材センターの理解に努める。
- (2) 会報、チラシ、パンフレット、ホームページを活用し事業内容の紹介、会員の確保及び加入を促進する。
- (3) シルバーまつりの開催及び各種イベントに参加し市民と交流し事業のPRに努める。
- (4) 会員と市民との参加型講習会を実施し、講習会を通じてシルバー事業の理解を深めることに努める。

3 会員の就業意識、技能の習得を図る。

- (1) 各種講習会を開催し、会員の技能習得及び向上を図る。
- (2) 地域班、職群班の会議を開催し、会員相互の交流と意思の疎通を図る。

4 安全就業対策と健康管理に努める。

- (1) 「安全就業基準」の遵守徹底など組織をあげて取り組む。
- (2) 安全就業委員会が定期的な巡回指導を行い、事故防止の徹底を図る。
- (3) 安全就業に関する講習会を開催し、安全に対する意識の高揚を図る。
- (4) 健康管理のために健康診断の推進に努める。

5 福祉・家事援助サービスを推進する。

(1)子育て支援事業を市と連携しながら情報収集をし、実施に向けて、講習会の開催及び調査研究に努める。

(2)介護保険制度が改正され、市では平成二十九年度から比較的軽度の要支援の対象者に対する訪問介護と通所介護サービスが実施されることとなり、そのうちの介護予防サービスに参入する。

(3)各種家事援助講習会を実施し、女性会員の加入を促進する。

6 労働者派遣事業及び有料職業紹介に取り組む。

(1)多様化する就業ニーズに応えるため、県シルバー人材センター連合会が派遣元となつて進める労働者派遣事業を積極的に推進し、適正就業と就業機会の確保に努める。

(2)県シルバー人材センター連合会の活動拠点として行う、臨時的・短期的雇用による就業、または、その他軽易な業務に係る仕事を希望する高齢者を対象に、求人・求職者に有料で斡旋、提供するための職業紹介に努める。

7 財政基盤の強化と事務局機能の効率化を推進する。

(1)自主財源の確保のため、就業機会の開拓・拡大を行い受託収益の増加に努める。

(2)経常経費の削減に努める。

(3)事務量の増加に対応した事務処理の簡素化・合理化に努める。



新役員紹介



理事長
橋本正弘



副理事長
小澤貞彦



常務理事
水野清



理事
土屋建次



理事
黒津善三



理事
佐藤勝子



理事
山田淳子



理事
小池成治



理事
石川征夫



理事
内田秀



理事
二村高照



監事
橋本五十夫



監事
内田武

平成29年6月18日
〜平成31年6月18日

事務局からのお知らせ

実施結果

(平成28年度)

1/23

- 第一回就業開拓(開発)委員会の開催
- 一、介護保険総合事業B型への参入について

- 二、TEC大仁工場の訪問について

- 三、「会員ひとり一顧客運動」のお礼の検討について

1/30

随時監査の開催

- 一、平成28年度事業計画の業務執行の確認

- 二、定款・規程集の遵守の確認

2/10

第五回理事会の開催

決定事項

- 一、センター管理車輛の事故による自動車

- 任意保険の一部負担の承認について

- 二、会員の安全就業基準の制定の承認について

- 三、職員給与規程の改正の承認について

- 四、平成28年度収支補正予算第4号の承認

について

報告事項

- 一、随時監査報告について

- 二、各委員会の報告について

- 三、常務理事(事務局長)の内定の報告について

- 四、平成29年度の事務局の体制について

- 五、新入退会会員の報告について

- 第5回普及啓発推進委員会

- 一、ミニ会報4月号の内容検討について

3/15

(平成29年度)

5/17

第二回普及啓発推進委員会の開催

- 一、会報第42号の内容検討

5/16

定期監査

- 一、平成28年度事業報告

- 二、平成28年度収支決算

- 三、帳簿・領収書等の確認

5/23

第二回理事会の開催

- 一、平成28年度収支補正予算第6号の承認

について

- 二、平成28年度事業報告の承認について

- 三、平成28年度収支決算の承認について

- 四、定款の変更の承認について

- 五、永年在籍表彰者の承認について

報告事項

- 一、入退会会員の報告について

- 二、各委員会の報告について

- 三、新役員の選任について

- 平成28年度定時総会の開催

報告

- 一、平成28年度監査報告

- 二、平成28年度事業報告

議事

- 第一号議案 平成28年度収支決算の承認について

- 第二号議案 理事の選任について

- 第三号議案 監事の選任について

- 第四号議案 定款の変更の承認について

- 以上の議案に対し、審議の結果賛成多数

にて承認されました。
事務報告

- ・平成29年度事業計画及び平成29年度収支予算書の報告
- ・平成28年度収支補正予算の報告

第二回理事会開催

- 一、理事長・副理事長・常務理事の選定について



新入会員の紹介

(平成29年1月1日から平成29年6月30日)

(葦山地区)

石黒 隆文・渡邊てる子・金 徹

小林 幸枝・佐野裕見子・西原 幸枝

山本 文治・岩本 金平・南部 恵子

小林 孝年・瀧本 健吾・水野 清

花村 恵子

(長岡地区)

丸濱ハルイ・秀島 洋子・杉山 末吉

(大仁地区)

杉山 正治・山田 雪子・森野 幸子

今井 稔・村松 勇・矢田 隆一

堀江 京子・山崎ひさゑ・原 和美

片山 康男・佐野二三一・古屋 一宏

伊豆の国市シルバー人材センター

会員数 (平成29年6月30日現在)

男	374人
女	143人
計	517人

シルバーニュース

奉仕作業の部

◎長岡地区 6月24日 長岡中学校

植木の剪定・草刈・草取・清掃

(参加者33名)

育成事業研修の部

◎「家事援助」技能講習

6月8・15日の二日間に葦山福祉・保健センターにて開催され、会員6名、一般市民10名の計16名が参加しました。

◎刈払機技能講習会

6月30日に修善寺農村環境改善センターにて開催され、会員6名が参加しました。



「家事援助」技能講習

工作同好会 誕生!

工作同好会会長 榎本昭雄

互助会は解散しましたが、会員相互の交流や親睦を深めるために各同好会は引き続き活動すると思えます。

「竹細工同好会」は「工作同好会」に改称し、多くの会員に参加して頂こうと考えています。竹細工だけでなく、木、布、蔓他何でも作っている方、作ってみたい方は是非ともご参加ください。既に作っている方には仲間の指導をお願いできればと思います。興味のある方は、榎本又は同好会の会員へ、ご連絡ください。

蛭ヶ島茶屋からのお知らせ

午前中の朝市(無人販売)、折り紙教室等の教室など募集しています。お気軽に店長までお問合せください。

◇問い合わせ 蛭ヶ島茶屋

055-949-5582

新入職員 就任挨拶



水野 清

このたび齋藤事務局長の後任として、六月十六日付で新事務局長に就任しました水野でございます。会員の皆様には、日頃より当センターの運営に関しまして、ご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、今年度に入り、伊豆の国市の六十五歳以上の高齢化率が三一・四%、七十五歳以上の後期高齢者率が一五%と報告がありました。こうした現状とともに少子化が加わり、現在日本全体の労働力は、縮小している状況となっております。このような時代にあつてシルバー人材センターの存在意義は益々高まりを見せており、当センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっていっていると考えています。いつでも、いつまでも働ける環境を整備するための、いわゆる「定年の無い伊豆の国市シルバー人材センター」の実現に向け頑張りたいと思っております。会員の皆様方には、今後とも宜しくお願ひ申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。



池谷 光司

このたび(公社)伊豆の国市シルバー人材センターに臨時職員として四月に入所しました。長岡地区を担当いたします。よろしくお願ひします。



小田原 進

このたび(公社)伊豆の国市シルバー人材センターに臨時職員として四月に入所しました。大仁地区を担当します。よろしくお願ひします。

編集後記

会報発行委員から普及啓発委員長まで四年間、年二回の会報・ミニ会報発行に携わってききました。委員の方々や会員の皆様のご協力で無事任期を終了、次期委員に引き渡すことになりました。四年間ご協力ありがとうございました。

(山川)

